



KONICA MINOLTA

News Release

コニカミノルタの5製品が 2017年度グッドデザイン賞を受賞

2017年10月4日

コニカミノルタ株式会社（本社：東京都千代田区、社長：山名 昌衛、以下 コニカミノルタ）は、以下の5製品が、公益財団法人日本デザイン振興会主催 2017年度グッドデザイン賞を受賞したことをお知らせします。



【受賞製品】

- ・「ケアサポートソリューション」
- ・ワイヤレスデジタルラジオグラフィシステム「AeroDR fine (エアロディーアール ファイン)」
- ・分光測色計「CM-M6」
- ・プラネタリウム投映機「インフィニウム Σ」
- ・「コニカミノルタプラネタリウム“満天”in Sunshine City」

【受賞製品の評価ポイント】

<ケアサポートソリューション>

～ワークフロー変革で介護業務全体の効率化を実現する～



■デザインのポイント

施設スタッフのプロアクティブな介護サービスを支援する「介護現場の舞台装置」としてのデザイン

■審査委員の評価(公式評価コメント)

世界で類をみないペースで高齢化が進む日本において、介護領域のサービス開発は急務である。特に、人数的にも不足しているケアスタッフの負荷を下げたり、効率を高める方法が模索されている。

本サービスは現場での丁寧な開発プロセスを経ることで、システムが担う領域と、人間にしかできない領域を適切に分類している。その結果、ケアする側とされる側、双方にとってストレスが少なく、持続可能な介護のあり方を実践している。

今後さらなるテクノロジーの導入により、世界に先んじて、安心して歳のとれる社会の実現を期待したい。

今後さらなるテクノロジーの導入により、世界に先んじて、安心して歳のとれる社会の実現を期待したい。

<ワイヤレスデジタルラジオグラフィシステム「AeroDR fine」>

～低被曝かつ軽量・堅牢・ハンドリング性も向上させた医療用デジタルX線撮影装置～



■デザインのポイント

技師が持ちやすく、患者にやさしい形状を考慮、患者と技師の負担を低減したデザイン。

■審査委員の評価(公式評価コメント)

高画質化と薄型化、堅牢化というそれぞれ背反する要件を満たしながら、本体の全周にくぼみを設けることによって現場における扱いやすさに配慮しており、たゆまぬ設計努

力を感じさせる。このような高密度に技術を集積したデバイスにおいて、機能性や耐久性といった物性品質だけでなく、使いやすさや安心感といった利用品質までしっかりと両立させようという開発努力が高く評価された。

<分光測色計「CM-M6」>

～自動車外装測定で抜群の威力を発揮するマルチアングル分光測色計～



■デザインのポイント

安定した曲面の外装色測定と測定者の負担を軽減する、ハンドリング性を追求したデザイン。

■審査委員の評価(公式評価コメント)

自動車外装色の測定に特化し、細かな部分まで使用現場でのニーズを網羅している。測定するもののいかなる方向にも追従する可変的インターフェイスは、曲面の安定した測定を実現するための工夫が感じられる、造形にもその思想が反映されている。握りやすさ、対象物を傷つけない心遣いも感じられることや、独自のフォント開発など、トータルに質を向上させようとする姿勢が感じられた。

うとする姿勢が感じられた。

<プラネタリウム投映機「インフィニウム Σ」>

～夜空に輝く恒星の美しさにこだわった光学式プラネタリウム投映機～



■デザインのポイント

恒星球（恒星投映機の集合体）の外装構成の刷新に挑戦。構成原理を造形美に押し上げたデザイン。

■審査委員の評価(公式評価コメント)

基本光源を32分割する設計に対して、数学的に安定する六角形20面と五角形12面の32面体構成を採用したことで、原理に基づく秩序、安定感のある構成が実現している。剛性感のある各パーツが太い目地を介して精度高く構成され、宇宙、天体、星といった原理、秩序を視覚化する機器にふさわしい存在感が評価された。

<コニカミノルタプラネタリウム“満天” in Sunshine City>

～心地よく癒される“星空空間”を追求したプラネタリウム～



■デザインのポイント

都会の眩しさや喧騒で麻痺した感覚を暗闇と静寂の中でリセットし、本来の自分の感覚を取り戻す経験を与えるデザイン。

■審査委員の評価(公式評価コメント)

様々な情報やデバイスによってほとんどの時間を支配されている我々現代人にとって、プラネタリウムは本当の人間のリズムに戻れる場所にもなりえるかもしれない。そんな今の時代だからこそもう一度プラネタリウムの可能性を感じさせてくれた。

【受賞製品の特長】

<ケアサポートソリューション>

ケアサポートソリューションは、センサーとスマートフォンを軸としたワークフロー変革で介護業務全体の効率化を実現するソリューションです。従来のナースコールやマットセンサー、介護記録システムでは実現できなかった介護業務全体の効率化を実現します。

◆製品情報：

https://www.konicaminolta.jp/business/solution/innovation/expertise/care_support/index.html

<ワイヤレスデジタルラジオグラフィシステム「AeroDR fine」>

放射線科撮影室だけでなく、病棟回診、ICU、救急外来、手術室など様々な場面に活躍の場を拡大してきたデジタルX線撮影装置「AeroDRシリーズ」の新たなフラッグシップモデルとなる、世界最高レベルの解像度を達成したワイヤレスタイプの可搬型DRです。

◆製品情報：

https://www.konicaminolta.jp/about/release/2016/1128_01_01.html

<分光測色計「CM-M6」>

自動車の生産現場で外装色測定を行うためのマルチアングル分光測色計で、ボディやバンパーなどの曲面でも高い測定精度で安定した測定が可能です。色差検知力向上と小型軽量化といった顧客ニーズに対応し、現場でのユーザビリティ向上を実現しました。

◆製品情報：

<https://www.konicaminolta.jp/instruments/products/color/cmm6/index.html>

<プラネタリウム投映機「インフィニウム Σ」>

本機は、操作性と星空の再現性に高い評価を頂いている光学式プラネタリウム投映機「インフィニウムシリーズ」の最新鋭システムです。最新の光学技術や微細加工技術、機械制御技術を搭載し、静寂な漆黒の夜空できらめくような満天の星々を全天周ドーム空間に再現します。

◆製品情報：

https://www.konicaminolta.jp/planetarium/hard/planetariums/infinium_sigma/index.html

<コニカミノルタプラネタリウム“満天”in Sunshine City>

プラネタリウム機器メーカーであるコニカミノルタの直営館として2004年3月20日にオープンし、近年は毎年約40万人ものお客様にご来場頂いています。受賞対象となった2015年のリニューアルでは、「癒し」と気分をリフレッシュする「感覚の解放」をコンセプトとした心地よい空間を創出し、プラネタリウムの新たな可能性を探求する施設へと変貌を遂げました。

◆施設情報：

<https://planetarium.konicaminolta.jp/manten/information/>

■グッドデザイン賞とは

グッドデザイン賞は、様々な展開される事象の中から「よいデザイン」を選び、顕彰することを通じ、私たちの暮らしを、産業を、そして社会全体を、より豊かなものへと導くことを目的とした公益財団法人日本デザイン振興会が主催する「総合的なデザインの推奨制度」です。

その母体となったのは、1957年に通商産業省（現経済産業省）によって創設された「グッドデザイン商品選定制度（通称Gマーク制度）」であり、以来約60年にわたって実施されています。

報道関係お問い合わせ先

コニカミノルタ株式会社 広報グループ TEL：03-6250-2100